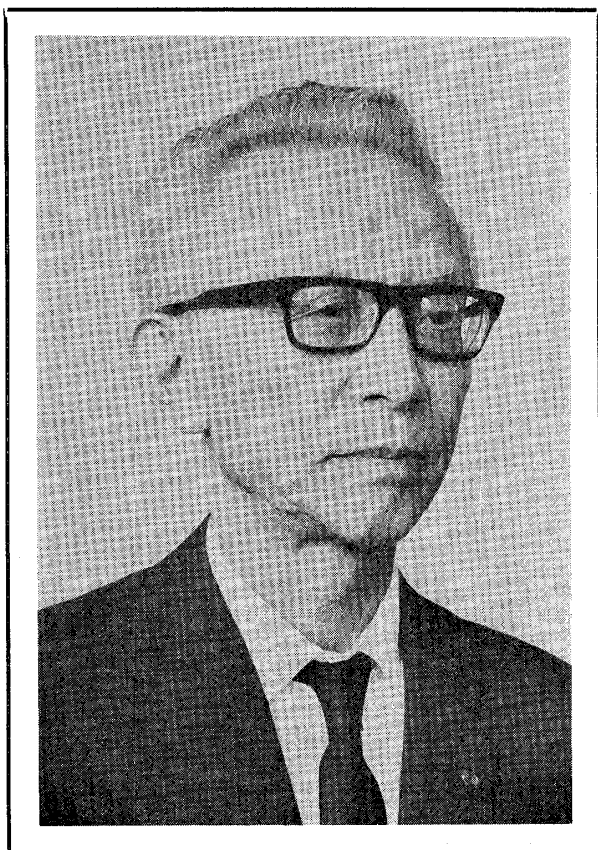


故中原實先生と歯科医史学



元日本歯科医師会会長，前日本歯科大学学長の中原實先生が，1990年10月16日，97歳の天寿を全うされました。

先生は，日本歯科医学専門学校の創立者中原市五郎先生の嗣子として1893年2月4日誕生されました。1915年に日本歯科医学専門学校を卒業された先生は，米国ハーバード大学に留学，同校を1918年6月卒業後，フランスで学ばれ，1925年4月帰国されました。

先生の在仏中，たまたま第一次世界大戦が始まりました。大戦前期は歯科の軍医は足手纏いとされてその請願は否定されていましたが，間もなく歯科医の協力の必要性が痛感されるようになり，

さらに歯科医の不足に悩むこととなりました。このフランスの実情を目の当たりにした先生は，帰国されると直ちに日本歯科医学専門学校に軍陣歯科の講座を創設されました。これはわが国初の試みでした。後年，先生は東京都歯科医師会誌に，小学校時代の思い出として，父君が歯科医と知ってから担任の態度が急に侮蔑的な態度に変わったことを述べられております。軍陣歯科講座の件も歯科医の社会的地位向上のためという背景があったと考えられます。

先生の歯科医史学上の業績の一つに軍陣歯科史料の紹介があげられます。

第一次世界大戦が勃発すると，先生はパリの

Val de Grance 陸軍病院に Frey 教授のもとで勤務され、次いでフランス歯科軍医として Vichy の顎衛戍病院で顔面に傷を受けた将兵の診療にあたられました。この時、使われた各種の顎骨の固定装置は先生によって持ち帰られ、現在、日本歯科大学史料室に保存されています。

先生によってもたらされた装置は、金属線製副木・鑄造副木・蒸和ゴム製副木、圧印金属床副木、蒸和ゴム製暫間固定装置、蒸和ゴム床上顎固定装置、圧抵板などの多種におよび、当時世界の最先端にあったフランスの軍陣歯科を知ることができる貴重な史料です。

先生の戦時下の歯科の重要性の指摘は、無能な日本軍部に理解されず、その結果、1931年9月の満州事変より1945年の敗戦に至るまで、顎顔面に損傷を受けたわが軍の兵士たちが十分な処置を受けることが出来ず苦しんだことはまことに痛恨の至りです。

現在、日本歯科大学にある18世紀前後のフランスの歯科器具も先生が滞仏中に集められたものです。エレベーターはじめ各種の抜歯器具や治療器具が多数あり、なかにはその使用法が不明のものもあって、先生に早くからお聞きしておけばよかったと後悔しています。

江戸時代の歯科風俗を伝える浮世絵のコレクションも先生の歯科医史学上の貴重な業績の一つです。

1978年、中原 泉 日本歯科大学新潟歯学部長が「浮世絵にみる歯科風俗史」の出版を計画されました。この時、實先生のご自宅から先生が歯科医としての視点から集められた浮世絵の膨大なコレクションが発見されました。この先生の浮世絵を中心に編集された本書の英語版は、来日する世界の歯科界の方々に贈呈され、愛蔵されています。

画家としての先生の名は広く知られているところですが、このコレクションを拝見して、先生の絵画に対する深い造詣に感服したものでし

た。

先生の日本の歯科界に残された数あるご功績のなかから、歯科医史学の面からの足跡について思いつくまま記させていただきました。

先生のご冥福を心からお祈りします。

(新藤 恵久)

中原 實年譜抄

- | | |
|---------|--|
| 明治26年2月 | 4日、東京生まれ |
| 大正4年7月 | 日本歯科医学専門学校を卒業（歯科医籍第2940号） |
| 大正4年9月 | 日本歯科医学専門学校助手 |
| 大正7年6月 | ハーバード大学歯科を卒業 |
| 大正7年7月 | ニューヨーク市立病院歯科部で臨床研修 |
| 大正7年9月 | フランス陸軍歯科医として、パリのヴァル・ド・グラス陸軍病院、のちヴィシー第45戦時顎顔面中央病院に勤務 |
| 大正12年4月 | 日本歯科医学専門学校教授（軍陣歯科学と歯科歴史を創設担当） |
| 昭和16年3月 | 財団法人日本歯科医学専門学校理事長に就任 |
| 昭和23年1月 | 日本歯科医学専門学校校長 |
| 昭和24年3月 | 日本歯科大学学長に就任 |
| 昭和26年3月 | 学校法人日本歯科大学理事長 |
| 昭和37年4月 | 日本歯科医師会会長（43年まで） |
| 昭和47年4月 | 日本歯科医師会会長（51年まで） |
| 昭和48年4月 | 日本私立大学協会会長（55年まで） |
| 昭和56年3月 | 日本歯科大学学長を辞任（在職32年） |
| 昭和59年7月 | 学校法人日本歯科大学理事長を辞任（在職43年） |
| 平成2年10月 | 15日、死去（97歳8ヶ月）
日本歯科大学名誉学長
日本歯科医師会名誉会長
日本私立大学協会顧問
二科会名誉理事 |
| 平成2年11月 | 従三位・勲一等瑞宝章 |